

福井ふるさと学びの森 奥越エリア 第7回体験イベント
生き物冬ものがたり-スノーシューで森の探検！-

- 1 日時：平成27年2月27日（土）
 午前の部 10:00～12:00
 午後の部 13:00～14:00
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：25人（大人14、子ども11）
- 4 講師：秋野さん、石田さん、北川さん、斎藤さん、田淵さん、山岸さん、矢村さん
 （自然観察指導員の会）
- 5 内容：
 （午前の部）
 - ・自然保護センター～芝生広場～トンボ池～自然保護センター
 まずは講師の方から観察テーマである冬芽と葉痕、ウスタビガとヤママユガの繭がどんなものか説明を受けたあと、スノーシューを履いて出発です。
 - ・コブシやクロモジの冬芽を発見。コブシの冬芽はうぶ毛をまとっています。一方、クロモジの冬芽は毛がなく、堅い花芽のまま越冬しています。どうして凍らないのか不思議ですね！
 - ・誰かがコナラの枝にぶらさがっているウスタビガの繭を見つけました。繭は鮮やかな黄緑色でとてもきれい。でも繭の多くは冬の間は野鳥に食べられてしまうそうです。
 - ・雪の中に身を隠しているウサギを脅かして雪原を駆けさせてみよう、みんなで山の斜面に向かって大声で叫んでみましたが、ウサギの姿は見られずちょっと残念でした！
 （午後の部）
 - ・自然保護センター～芝生広場
 お待ちかねのアイスクリーム作りです。アイスクリームの材料が入った小さなボトルを、塩を混ぜた雪で冷やしながらよく振り続けること15分、おいしいバニラアイスができました。
 - ・その後は雪の上に大の字になって寝転んだり、斜面をごろごろ転がったり、お尻で滑ったりと楽しい雪遊びを満喫。
 - ・男性陣がスコップを使って雪を70センチほど掘り、雪の積雪層を見せてくれました。今朝降り積もった雪はふわふわで、その下の層はザラメのような粒になって硬く固まっていました。
- 6 イベント全体を通して
 - ・冬の森で木々が春を迎える準備をしていることや、生き物が冬を乗り越えることの厳しさを知りました。
 - ・4～7歳の子どもが多く参加してくれましたが、どの子も元気に雪遊びを楽しみました。



キツツキがつついた枝を発見



雪だるまを作ろう！



アイスクリーム作りに夢中